



新春対談

みんなの

チャレンジを応援

百人一首競技かるたで、3連覇を成し遂げた、本市出身の糸原圭太郎さんと茂木市長がオンライン対談を行いました。
かるたを始めたきっかけや勉強に関すること、ふるさと安中への想いなどを聞きました。

茂木 英子 糸原 圭太郎

市長…本日はよろしくお願ひします。
糸原…よろしくお願ひします。

市長…昨年行われた、小倉百人一首の競技かるた大会の日本一、おめでとう
ございます。

糸原…ありがとうございます。

市長…競技かるた大会の様子はテレビで拝見することがありますが、読み上げと同時に見えないほどの速さで札と
りが行われていました。緊張感が続く
長時間にわたる試合で、3連覇を成し
遂げられたことは素晴らしいこと
です。競技かるたを始めたきっかけを教
えてください。

糸原…競技かるたを始めたのは、小学
4年生の時です。小学1年生のころか
ら上毛かるたが大好きでしたが、4年
生の県大会で優勝することができ、今
度は百人一首にチャレンジしてみよう
と思うようになりました。小学4年生
の終わりごろに、前橋市にお住まいの
猪熊静江先生が主催される「つばさク
ラブ」で、小倉百人一首競技かるたを
始めました。

■かるたが日常生活で
生かされること

市長…競技かるたをしていることが日
常生活で生かされることはあります
か。

糸原…競技かるたは一瞬の集中と記憶
力が重要になります。たとえば仕事
で、土壇場で一気に集中して仕上げな
ければならないときや緊張感の中でプ
レゼンをするときなどに「集中力」と